

岡山大学 MONTHLY DIGEST

VOL. 39
2019.7

TOPICS

1

創立70周年記念国際シンポジウム「持続可能な開発目標(SDGs)のための日米若手人材育成交流に向けて」を開催



7月6日、本学創立70周年記念行事の一環として、「持続可能な開発目標(SDGs)のための日米若手人材育成交流に向けて」と題した国際シンポジウムを本学創立五十周年記念館で開催しました。

榎野博史学長のあいさつ後、CLSプログラムを運営する米国アメリカン・カウンシルズのデビッド・パットン理事長が「次世代のリーダーを育成するー国際教育を通じた持続可能な開発目標の推進」、米国ミシガン大学日本研究センターの筒井清輝所長が「ミシガン大学日本研究センターと岡山フィールドステーション」と題して基調講演を行いました。

パネルディスカッションでは、「日米交流における人材育成について」と題して、SDGsを推進する人材育成と交流の在り方について意見を交換したほか、「地域に学ぶ人材育成について」をテーマに、地域に焦点を当てた活発な議論を行いました。高校生、大学生をはじめ企業関係者、行政関係者、大学関係者など約200人が参加しました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id8635.html

TOPICS

2

岡山大学創立70周年記念 「岡山の水と暮らし」を考えるシンポジウムを開催

7月6日、創立70周年を記念したシンポジウム「岡山の水と暮らし」を創立五十周年記念館で開催しました。県北から訪れた高校生など約70人が参加し、さまざまな角度から「水」についての知見を深め、流域連携の重要性を学びました。

昨年の西日本豪雨災害の犠牲者に全員で黙とうをささげた後、榎野博史学長が開会のあいさつを述べました。続いて、大久保憲作高梁川流域学校代表が「高梁川流域学校ー誕生とその活動」と題して講演。本学の若手研究者らは、「水」をテーマにした研究成果を紹介しました。

大久保代表、榎野学長、坂本竜哉理学部附属臨海実験所長による対談も行い、岩淵助教を進行役として、今回のシンポジウムの意義や今後の交流について意見を交換しました。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id8628.html

Pick up!

「次世代医療機器連携拠点整備等事業」に採択



国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の平成31年(令和元年)度「次世代医療機器連携拠点整備等事業」に、本学が採択されました。本事業は、平成26年度より5年間実施した国産医療機器創出促進基盤整備等事業等の成果を活用しつつ、医療機器を開発する企業の人材育成拠点を増やし、更に各医療機関ならではの特色を活かした、医療機器産業の振興につながる魅力あふれる拠点を整備することを目的とするものです。本学を含め14施設が採択されました。

岡山大学病院と連携5病院で構成するメガホスピタルのスケールメリットを生かし、価値あるビジネスモデルの創出、企業マッチング、事業化をシームレスに実施していきます。

参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id8663.html

TOPICS

3

ウェイトトレーニング部が学長へ全国大会優勝を報告！

ウェイトトレーニング部が7月9日、学長室を訪れ「文部科学大臣杯争奪第46回全日本学生パワーリフティング選手権大会」での優勝を報告しました。(6月30日・大阪府 阪南大学開催)

個人戦では、女子52kg級 熊原もも花さん(法学部4年)、女子63kg級 岡田佳奈さん(グローバル・ディスカバリー・プログラム2年)、男子53kg級 寺岡拓朗さん(経済学部2年)、男子105kg超級 有岡幸一郎さん(理学部4年)の4名が個人優勝を果たし、女子63kg級の岡田佳奈さんは3種目・トータル全て日本学生記録を樹立！個人戦の上位に多く名を連ねた本学は、3年ぶりの団体優勝となりました。



参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id8646.html



TOPICS

4

地域と世界の“いま”を語り合う第1回SDGs Caféを開催



本学では国連SDGs「持続可能な開発目標」の達成に向けた貢献のため、地域や世界の方々との交流を通じた国際学都「おかやま」の創成に取り組んでいます。7月10日には、津島キャンパスのL-Caféでゴール11「住み続けられるまちづくり」をテーマに第1回SDGs Caféを開催。留学生を含む学生、教職員約30人が「まちづくりとSDGs」について自由に語り合いました。

伊野英男副理事の進行で、槇野博史学長のキックオフ宣言に続いて、青尾謙副理事がSDGsの概要と本学での取り組み事例を説明。参加者は、ゲストスピーカーのNPO法人まちづくり推進機構岡山の徳田恭子代表による岡山中山間地域の現状に関する話や、岡山県に関する3択式カードゲーム、地図で1年間に訪れた場所に印をつけるなどのゲームを通して、中山間地域の課題と解決に向けた取り組みを学びました。徳田代表は、「皆さんが訪れることが地域のためになる。あちこちに足を運んでください」と呼びかけました。

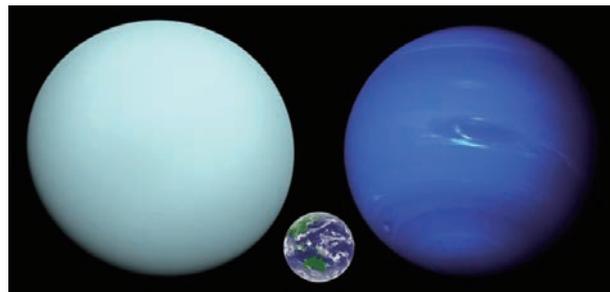
参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id8644.html

PRESS
RELEASE

高強度レーザーで天王星内部の“金属の水”の性質を解明

惑星物質研究所の奥地拓生准教授らの研究グループは、仏日を代表する二つの高強度レーザー施設を相補的に使って、天王星と海王星が強力な磁場をつくるメカニズムを解明しました。

実験では、水を主成分として、炭素や窒素を含む三種類の液体を混合した試料を、レーザーを使って強く圧縮しました。この手法で300万気圧に達する惑星内部の圧力をうまく発生できるのですが、それはナノ秒という短い時間しか維持されません。独自の計測技術により、液体試料の性質をこの短時間のうちに計測したところ、それらは光を反射する金属の状態になっていました。また、炭素を含む場合に反射率は顕著に上昇しました。この結果から、惑星内部にある磁場の源が“金属の水”に流れる電流であり、そこに含まれるメタンが分解して生成した炭素イオンが水の性質に影響を与えていることがわかりました。



参考 https://www.okayama-u.ac.jp/tp/release/release_id641.html

